

rongorongogo

茨城キリスト教大学
文化交流学科

茨城キリスト教大学文学部文化交流学科 〒319-1295 茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL 0294-52-3215 FAX 0294-52-3493

今年もやります! アジアンバザール

11月2・3日 10号館にて
美味しいベトナムコーヒーが飲めるカフェも出店

先週から気温もぐっと下がり、ブーツや上着を着た人が増えてきました。カフェではモンブランのデザートがメニューを賑わせ、まさに季節は秋一色です。そして秋と言えば、一大イベントの存在を忘れちゃいけません。そう！学園祭です！そしてここで皆様を紹介したいのは私達が出店する「アジアバザ」でございます。

今年で5回目を迎える『アジアン・バザール』通称「アジアバザ」では、私達学生が実際にタイやベトナム、カンボジアなどで直接買い付けた衣類や雑貨、アクセサリーなどを販売致します。シルクで作られたショール、怪しげな置物、可愛いピアス、使い道の分からない

いおもちゃなど、商品の幅は実に豊かで、遊びに来た皆様をきつと飽きさせない事と思えます。今年ベトナムの買い付けを担当し、自分達でこれがいんじゃないか、あれの方がウケるんじゃないかと、あれこれ相談をしながら電卓片手に値段交渉をした分、自分にとつても今年は去年より特別な学園祭になると思っています。「これだけいっぱい買っただからまけてよ」と粘った私達に根負けした売り子さんが安くしてくれた小物入れ。どれだけ頑張っても「これは全部私の手作りだから」と笑顔で跳ね返された揚句、「これだけ可愛いならしょうがない！」と逆に私達が根負けして買ったビーズのストラップ。

プ。商品ひとつひとつに味を持つて下されば嬉しくたくさんの思い入れがあります。だからこそ是非、商品について私達に聞いて下さい。どこで、どんな人から買って来たのか、出来る限りご説明致します。それはきつと普通のアジアン雑貨屋さんとは一味違った、「その国の景色」を感じながらのお買い物をお楽しみ頂けると思っています。このアジアバザをきつかけに皆様があつてもアジアの国々を身近に感じ、そして興味を持って下さい。

味を持つて下されば嬉しいです。毎年来て下さっている方、気になつていない方、この紹介で初めて存在を知った方など、様々だと思えます。私達アジアバザのメンバーは一人でも多くの皆様のご来店をお待ちしています。お友達と、サークルの仲間と、家族と、恋人と、是非アジアバザに遊びに来て下さい。

文化交流学科 3年 橋本 麻美

ボランテニアレポート カンボジア

8月23日から9月6日までボランテニア活動を行った学生2名のレポートを掲載します

彼らの将来が楽しみ

3年 文化交流学科
梶山 真矢

カンボジアの虜

グラム経験者の先輩に「二回行ってみたほうがいい。」と言われただけで、詳しい話も聞かずにこのプログラムに参加する間もない頃に、このプロ



タイの職人が手作りした時計

ることを決めた。どうせ聞いても 分からない、現地のことも実際よく知らないし、なんとなく楽しそうだから、と軽く構えて参加したことをきつかけに、私はカンボジアの虜になった。

去年もこのプログラムはあつたが、自分の中で二年前の経験が重すぎて、軽い気持ちで参加することが出来なくなつていた。しかし、心の準備もできた二年後の今年、プログラムの始まる半年以上も前から行くことを決め、出発の二日前からはまともに寝られないほど気持ちは高ぶつていった。

08年10月号目次

- ◆ 1面 文化祭に向けて
- ◆ 1～3面 ボランテニア・サポート基金報告
- ◆ 4面 投書回答
- ◆ 5面 教員の夏
- ◆ 6～7面 文化交流学科 就職情報
- ◆ 8～9面 細谷先生インタビュー
- ◆ 10面 セキュリティーと情報技術講演会 報告

ロンゴロンゴとは南太平洋ポリネシアのイースター島で昔作られていた「物を言う板」です。この板には文字のようなものが書いてありました。この文字はまだ解読されていないそうですが、これは島の人々に歴史や情報を伝える板でした。

二年前と大きく異なる点は学生の数だった。私に参加した年、学生は七名だったのに対し、今年はその約三倍の19名であった。そして参加メンバーには、私と同じ、リーダーが約半分を占めていた。

カンボジアに行ってみたいと思っている人は意外とたくさんいるが、行くまでに踏み込めなかった人が一番気にしていることは、きっと現地の学校での生活だろう。実際、一回経験している私でも日本にいたときにカンボジアでの生活のことを考えると、気が重くなった。しかし不思議なことで、水といえば井戸に頼り、蚊帳を張って蚊取り線香をフルに活用し、夜はライト無しでは外に出られない、という超不自然な生活にも、現地だと自然と思えるのだ。「二週間は長い」と口にしていた全員が、最後には帰らなくない気持ちにさせられてしまうほどの開放感とゆつたりとした、そこ

でしか味わえない贅沢と私は思えて仕方ない。

再会

今回参加した一番の理由。それは二年前の生徒たちにもう一度会うこと。まず会えるか、元気でいるか、もしかして何かの都合で学校に通えなくなってしまうてはいないか。たくさん不安を抱えながらここへ来た。しかしその不安も飛んでいってしまう笑顔がここにはあった。背が伸びていたり、声が低くなっていたり、英語がペラペラになっていたり、二年前より確実に成長している姿が伺えた。成長した日本語で、二年前の思い出話や仲間のこと、勉強のことを色々話した。もちろん通じないことのほうが多い。でも嬉しくて、お互い必死に会話をした。またこの子たちのことを日本てただ想って胸が痛くなる日々が絶対来るから、二週間の間は出来るだけ子供たちと時間を

を過ごした。

時の流れ

何も変わっていないことが嬉しくて毎日過ごしていたが、二年前によく行っていた喫茶店のおじいさんが亡くなっていた。また会って記念写真を撮りたかったのに、あの笑顔はもうそこにはなかった。時は確実に流れているんだと実感した。ここで今楽しく一緒に過ごしている子たちも、いつ会えなくなるかわからない。そう思うとすべてが愛おしく感じられた。



「なんでカンボジアなんて行くの？もつと先進国に行けば？」

私がこのプログラムに参加してから言われ続けていることだ。確かに、先進国はきれいだし生活に不便はないだろう。しかし行ってもいけないのに、カンボジアと聞いただけで「良くない国」と決め付けるのはおかしいだろう。どんな先進国や発展途上国だって、実際に行ってみないと何も見えてこない。本当の良さが

はわからない。

せっかく大学に入って、夏休みはとでも長く、こんないい環境が整っているのだから、是非たくさんの人にこういう経験をして欲しいと思う。今年は私の友達もこれにたくさん参加した。というより何人かには猛アピールをして、一緒に旅をした。日本でただ遊んでいるなら、見て欲しいもの、触れて欲しいものがたくさんあった。得に

大切と思う人ほどそれを感じて欲しかった。そしてカンボジアにはそれがたくさんある。大切な人たちととてもいい時間を共有できたこと、そしてその時間について、これからも語り合ったり考えたりできることは、私の人生でとても大きな財産だ。

また会える

子供たちと別れる時はとても悲しかった。しかし、二年前よりも悲しくなかったのは、また絶対

会える、という自信があるからだと思っている。二年前はもう会えないかもしれないと思っていたが、やっぱりまだまだ彼らの成長を見続けたい、と思った私はすんなり前を向くことが出来た。会いたいなら会いにいくればいい。その時のために私も成長しなくては。私は、彼らの将来が楽しみで仕方がない。



カンボジアの学生と一緒に 梶山さん(左) 金子さん(右)

視野を広げる

3年 文化交流学科

金子 竜也

旅路

行機雲が明日の天気を知らせた。

8月15日、日本を出る前日僕は身長の半分以上もある大きなバックパックをパンパンにさせた。一ヶ月も行く事になんどの恐れもなく気持ちは高ぶるばかりであった。それもきつと心強い仲間がいたからである。そのため私は明日からの予定などあまり把握せずに日本を飛び立った。

私たちはベトナムのホーチミン市からカンボジアへ通じるメコン川という大河をパイプ椅子がぎゅうぎゅうに敷き詰められたボートに乗り込みカンボジアへ向かった。この辺の川は平地のせいか前日に台風があつたかのように茶色く濁っている。汚い川でも景色は違つた。見渡す限り薄く透き通る青い空、真っ白く大きな雲、飛び込む飛



生活

農村地帯の広がるプレイベン市リング村、友好学園での生活は私の心を一掃させた。電気も水道もない場所で二週間の生活が始まる。すべてが新鮮であった。風呂は井戸の水を浴びる。昼間は汗だくな体にバケツいっぱい冷たい水、夜は無数に広がる星空と天の川を見ながらのシャンプーは最高に気持ちよかつた。夜は校舎に蚊帳を張り御座の上に寝る。朝は美しい朝焼けと共に目を

覚ました。朝日はあつという間に辺りを照らし気温の上昇を体で感じた。



授業

蛍光灯のない薄暗い教室に子ども達は静かに座っている。子ども達の目はとても美しく、微笑みをかけると微笑みを返してくる。私はなぜかその瞬間すごく緊張した。日本でチャランポランな生活を送ってきた私が日本語を教える自身がなかつたのである。目の前ではメンバーのエリカさんが「あ行」から順に教え始まつている。「次は行からだよ」と言われ「せんせ!せんせ!」と呼びかけてくる。先生と呼ばれるのはとても新鮮である。私達のグループ

挫折

板に「た」と書いた。子ども達に「た!」と大きな声で問いかけると50人の大きな声山びこのように返ってきた。この瞬間すべての緊張は吹き飛んだ。

すべての授業が順調に進むことはなかつた。たとえば発音である。「つ」の発音はカンボジア(クメール語)には存在しない。そのため子ども達の発音はどうしても濁つてしまつた。そのため何度も「つ」の発音を繰り返した。数字では「4」と「7」である。「4」と「7」には二種類の読み方がある。「4」であれば「し」と「よん」である。「7」であれば「しち」と「なな」である。これには通訳の学生に意味を話してもらい助かつた。子ども達は分からないことがあれば「せんせ!せんせ!」と呼びかけてくる。先生と呼ばれるのはとても新鮮である。私達のグループ

劣等

では日本の文化を知ってもらおうと日本舞踊を教えた。初めのうちは生徒を並ばせるのも一苦勞であつた。恥ずかしがつてやらない子どももいた。分からなくもないが、正直苛立つた。

通訳の学生には授業共に生活ではいつもお世話になつた。毎日他愛もない話で盛り上がり、笑いはいつも耐えなかつた。夜になればロウソクとライトの明かりを灯しビールを何本も空けた。食事の際にはいつも日本の流行語を教えた。どうでもいいような言葉をメモにとり勉強熱心な姿が伺えた。いつしか二カ国語をうまく使い分ける通訳の学生には劣等感を覚えるようになった。通訳の学生達は少なくとも英語もしくは日本語を使いこなす。先進国に生まれた私は、勉強をする環境が揃つているのにもかかわらず英語もろくに話せない。

別れ

なぜか申し訳ない気持ちでいっぱいであつた。「日本に帰ったら勉強を頑張ります!」

時の流れはとても遅いの、日々は急速に過ぎていつた。とても不思議な感覚である。帰りたけいど帰りたくない。二週間があつたという間であつた。お別れ会当日子ども達が授業で練習をした「Khoro(未来へ)」を一緒に歌つた。世の中の著名人は「音楽は国境を越える。」などと名言を吐いているがその通りであつた。私達と子ども達が一つになれた瞬間であつた。私は目蓋に力をこめて必死で涙をこらえた。「最後は外に出て元気よく踊りを踊ろう!」これでお別れだ。なぜかこの時とばかり子ども達は綺麗に並んでくれた。掛け声と共に楽しそうに踊る姿は嬉しくてたまらなかつた。「ありがとう!」の大きな叫びで幕

財産

私はこの経験を踏まえ日本に努力を持ち帰つた。ベトナム、カンボジア、タイを通して日本にはないハングリー精神を知つた。ゴミ山で働く子どもたちの日給は1ドルしかもらえない。小学生くらいの子も達が生きる為に必死になつている。日本人にはありえないことである。世界的に視野を広げると小さい悩みがくだらなくなつた。一カ月すべての出会いは私達に感動をくれた。藤田先生をはじめとするメンバーの皆様ありがとうございました。



学生の声

「そんなとどうなっているんですか?」

学生からの文化交流学科への質問に、

在学生と教員にお答えしていただきました。

学生から文化交流学科に関する素朴な疑問を受けました。そのような投書をここでは紹介し、文化交流学科の学生を教員が回答します。

1丁とともに学ぶ

Q1... 授業内容はどのようなものか。パソコンを使った授業が多いと聞くがそれを使って何を学んでいるのか。またゼミではどんな内容を取り上げているのか。

A1... 文化交流学科は、パソコンを使ってブライントタッチやホームページの作成方法などを学ぶ「情報」、日本語教師や日本語を学ぶ「言語」、世界の文化や観光、環境について学ぶ「地球」の三分野に分かれています。授業は講義がほとんどですが、パソコンを使用しての実習や、各自でテーマを見つけて発表する演習もあります。パソコンを使用した授業が多いのは、インター

卒業後の進路について。文化交流の技術を生

業が多いのは、インターネットをフルに生かした内容であり非常に充実しております。ちなみに私が所属して

いるゼミでは「地域社会における観光」というテーマで、茨城県内の観光地をフィールド調査します。現地では観光客へインタビュを行い、その観光施設の善悪等をまとめて、プレゼンテーションを行います。

就職に関して力を入れている学科

A2... 卒業後の進路についてですが、文化交流学科の場合には多様な職種に対応することが出来ます。異文化との交流をするにあたっては、「ことばやコミュニケーション能力」が必要となります。

資格を取得し、そういった分野を目指す方も居ます。なお、マスコミの現場で働く方を講師として招いての「報道技術」や、実際に仕事をしている社長などを招いて仕事や将来を考える「キャリアデザイン」などのカリキュラムも用意されており、就職に関しても非常に力を入れている学科です。

見方を変える

A1...

授業は、「文化交流の視点で物事を見る・考える」「交流の実践方法」「文化を学ぶ」「キャリア作りの技術を身につける」などを軸に組まれていきます。楽しそうでしょう。

広い視野が就職に生かされる

A2...

進路は、学科独自のものとして観光業界が多いですね。また、全学生がコンピューターを自由に使えますのでSEになる人も多い。社会科学の先生も毎年出ています。もちろん、他学科と同じく金融関係や公務員の道に進む人もたくさんいます。文化交流学科の就職率は良いですよ。それに、就職したあとの評判がすごいです。視野が広く、他者の文化を理解しながら自分の行動を決めようとするからでしょう。

文化と観光、環境について学ぶ「地球」の三分野に分かれています。授業は講義がほとんどですが、パソコンを使用しての実習や、各自でテーマを見つけて発表する演習もあります。パソコンを使用した授業が多いのは、インターネットをフルに生かした内容であり非常に充実しております。

回答

文化交流学科 3年

小松 大輔さん

また、日本語教師や社会科教員、学芸員などの

回答

文化交流学科 教員

齋藤 聖二先生

教

員

の

夏

休

み

佐々木 冬流

地球温暖化の夏

8月のはじめ、所用で北海道の東部の片田舎へ行って来た。私の生まれ故郷である。北海道も変わった。苦小牧に降りて車で五時間余り。かつては七時間かかった。一部に自動車道ができたからであるが、過疎化のせい

のばかでないのが堂々と国道を使って移動するから邪魔で仕方がない。しかし、一番変わったのは天候だったかもしれない。大変寒かったのである。晴れた日にも冷たい北風が吹き、曇りの日には寒くて表に出られなかった。東部は寒いところであるが、それにしても8月初旬、子供の頃は暑さに耐えず毎日川へとび込んだ、そんな季節である。温暖化現象といわれているのに何事だろう



砂浜に現れたキャラクターの彫刻

と思うにつ帰って来た。すると水戸に涼しい北風が吹いていた。どうやら東京から南は暑いらしい。よく分からない昨今の天候である。

岩間 信之
河原子の夏!

7月20日に、「海のチャレンジフェスティバルIN河原子」を実施しました。河原子海岸に日立の若者や子供達を集めて、ス

ポーツを中心とした新しい祭りを作ろうという試みです。観光というツールを用いた、地域活性化事業の一つです。河原子の美しい砂浜を使い、ビーチサッカーやビーチバレー大会、アクセスディンギー乗船体験(ユニバーサルデザイン)、絶対に沈まないという小型ヨット)、サンドアート大会、サーフィンスクール、スケートボード&BMXエキシビジョン、大声選手権などを開きました。子供達の引率者も含めると、大会参加者は二千人に達しました。サンドアート大会で

から本学へ一年間留学した卒業生に会いました。一回生の李美蘭さんと二

志賀 市子
輝いたアホ面

ない様子。諦めて別の三輪車に乗り換えようとする、いきなり見当違いの方向に走り出しました。「違う、おじさん、こっちじゃないの、@街の**寺だつてば」と後ろから叫んでも、おじさんはまったく聞かずに、「@△×? * * * @なのらー、こつちならー」と突っ走るばかり。このおじさん、別のお寺と勘違いしているのだろう、とにかくそこまで行ってひきかえそうと考えていたら、しばらくしてなんと目の前に**寺の門が見えてきたのです。この時初めておじさんの「アホ面」が輝いて見えた。長距離を乗ったのですが、お代は相場の四元。ボラれることもありませんでした。高州は全体的にのんびりしたい町でした。中国の大都市では、人がギスギスしていて疲れることがあります。南のほうの田舎にはまだこんなのにどかな所があるんだなと実感した旅でした。

は、本学の美術部員達が大活躍してくれました。サンドアートとは、重機で押し固めた砂山をシャベルやヘラで削りながら作製する、砂の彫刻です。炎天下の中での2日に及ぶ作業を経て、高さ1.3メートルほどの砂の彫刻が合計五体の出来上がりしました。いずれも素晴らしい仕上がりで、地元の人たちに大好評でした。色々な意味で暑い二日間でした。

染谷 智幸
韓国での再会

引率で韓国の明知大学へ行ってきました。去年は雨続きでしたが、今年

は天候に恵まれて連日の猛暑。でも湿度が低かったせいか過しやすかったですよ。文化交流学科からは二年生の園井さんと関さんが参加、勉強にイ



高州の犬。やっぱアホ面?

ベント・小旅行など楽しそうでしたよ。私は、滞在の合間を利用して明知

の交流も始まります。まだ韓国へ行ったことのない皆さんは、ぜひ、短期留学・長期留学へチャレンジしてください。世界の視野が広がりますよ。

これから就職活動をする皆さんへ向けて、3人の方に語っていただきました。さまざまな進路選択の形を参考にしてください。

私の就職活動

後輩のみなさんへ



文化交流学科 4年

末木 恵さん

一つでも多くの会社を知ろうと

就職活動の準備として三年生の10月から就職サイトに登録し、リクルートスーツやカバンなど必要な用品を11月頃にそろえ、年末には初めての合同説明会に参加しました。本格的に説明会に参加したり、選考を受け始めたのは翌年の2月から3月にかけてです。春休

み中であつたため、最も就活に専念できる期間でもありました。この期間は学内・外を問わず様々な説明会に足を運ぶ毎日

で、職種・業界に関係なく一つでも多くの会社を知ろうとしていました。希望職種や勤務地を絞り込んで探していたので、同業他社との比較をしていくうちに会社選びの決め手となる要素も見つけやすかったです。まずは合同説明会で社風や会社概要などを知り、その上で選考を受けるかを決めていきました。

予定のほとんどが就職関係だった時期

早いところでは2月下旬から選考が始まり、初

めて書くエントリーシートに苦戦しました。3月になるとより一層就活の時間が増え、予定のほとんどが就職関係で埋まっていたほどです。4月以降は授業との両立に悩まされました。授業数自体は少ないのですが、半期の授業が多く、頻繁に休めないので企業側に何度も面接の日程を変更して

いただいて、やっと日程が組めるという状況です。また、4月後半から5月にかけては徐々に内

進路探しの途中

勉強を楽しみたい



文化交流学科 3年

鈴木典子さん

「就職」とは別の、進路を探す

もう3年生です。今焦らなくていつ焦るのかと

定を貰う人が増え、就職先を決める人も出始める時期だったので、焦りが出始めた時期でもありません。中には2、3社の内定を貰ったという話もあり、選考に落ちてばかりの自分が惨めに思えました。

自分を見つめ直す

ようやく内定をもらえたのは6月初旬。その後何社か選考を受け、最終的に就職先を決めたのは

7月に入ってからです。結局1社しか内定をもらえませんでした。志望度が高いところだったので満足しています。就職活動には自己分析が大切

とはよく言われますが、私の体験から言えばあまり堅苦しく捉える必要はないと思います。細かくやろうとすると、かえって分からなくなってしまうので、EQやIQの診断結果を職種・業界を絞る手掛かりとして参考する程度にとどめました。診断結果の一部を自

己PRに取り入れ、キャリアセンでカウンセラーの方と相談しながら履歴書を書いたり、面接の練習を行いました。履歴書には最後まで悩まされた

史の江戸文化の研究をするというのも夢があり、すし、就職↓結婚↓出産：幸せな家庭を築くというのでもいいのかもしれないが、日常に非日常を求め私の性格上、家庭に入るのはまだまだ先の話だと思えますし、もっと勉強したいという志は充分あるので、違う大学へ行つて勉強するというのもありだと思えます。夢を語れば、怖いもの見たさで芸能界にも憧れま

内容を具体的に答えていくというものでした。何よりも大切なこと

就職活動は初めてのことでだらけで、戸惑いや不安も大きいと思います。何か手をつけてよいか分からない人は、学内のガイダンスやキャリアセンを利用してみてください。きつと手掛かりが見つかるといいです。何よりも大切なのは、説明会などで企業の方と話をすることです。これは会社を知ると同時に、社会人

勉強したい

ただひとつ言えることは、今は働くよりもまだ勉強したいという気持ちの方が大きいということですね。このまま

タイで働く

海外で自分を生かす



07年 文化交流学科 卒業生 田中悠介さん

在日本人向け パッケージツアー

茨キリの皆様、お久しぶりです。私は今 بانکのシーロム通りという所で旅行エージェンツとして働いています。

主な業務内容は航空券、ホテル、ガイドの手配ですが、それらの総合としてパッケージツアーを作成し販売しています。私自身に関してはそれに加え学生の頃に新聞(皆さんが今読んでいらっしゃるこのロンゴロ

ングです)を編集していた経験を生かしてパッケージ宣伝用の広告作成も行っています。私が旅行を販売しているのはタイ在住の日本人がほとんどです。極まれにタイ人やその他の国から仕事でタイに来ている外国人に對しても販売しています。

か来ていました。心のどこかで海外で働いてみたいと考えていた私はタイならなんとか(さほど無理をせずとも)暮らせようだなと思いついてバンコクに支店のある旅行会社数社に履歴書を送り続けました。面接の段までたどり着いたのはそのうちの1社でした。

絶対反対だった両親

私の両親は私が海外で働くことは絶対反対という考えでした。大学を卒業して東京での研修が始まってからも「本当に行くのか」とか「正気なのか」と様々な形で反対され、自分自身の言い出したら押し通さないと気がすまない性格も手伝って、両親とは衝突が絶えませんでした。

励まされながらどうにか生かされている私です。今では両親とのわだかまりも消えて、頻繁に連絡もとっており、息子がタイにいるうちに観光しようと計画中です。

自分を信じ抜く

今でこそこんな私ですが、就職活動中は「社会に出る」とか、「社会人として働く」といった漠然としたイメージに大きな不安を抱いていたことは間違いありません。きつと現在就職活動中の皆さんもその時の私と同じような気持ちなのではないでしょうか。始まってしまうばそれどうにかなるし、どうするの自分次第です。自分自身の可能性を信じて頑張ってください。

大学生生活で他に力を入れたのは行事です。学園祭ともなれば血が騒ぐタイプですから。ミスコンにも出させていただったり、ダンスでもステージに立たせていただく機会もあって、それがきっかけで学内の知らない方からも声をかけていただいたり。自治会の新歓とクリスマスパーティーのお手伝いさせていたことは、本当に限界まで

社会に出てしまつたら私は後悔するのではないかと危惧はしています。だからと言って、決して働くことが嫌いだというわけではありません。県庁でアルバイトをしていた時は朝5時に起きて張り切っていましたし、塾講師のアルバイトは私も生徒と一緒に勉強ができて楽しかったですね。働くことも勉強のうちと思っっていますから。

行事

打ち込みました。サークルのダンスも楽しく参加させていたでいています。ボランティアも良い経験になりました。大学生生活は割といろいろなことに挑戦出来て楽しく過ごさせていたでいています。楽しくて充実しているというだけで将来が見えてこないのは反省すべき点ではあるのですが…。

では長い夏休み何をしていたのかといえば、自動車の免許と介護ホームヘルパー2級の資格取得に勤しんでいました。介護の勉強は文化交流学科の勉強とは方向性が違っていて新鮮でした。前期には秘書検定の資格を取得するなど、多方面で資格取得に努めています。

今度の春休みにはカンボジアへ行く予定ですし、まだまだ取得したい資格も多くあります。今は、学生の身分である勉強を楽しんでいたいというのが本音です。

※パタヤから車で15〜20分、バンコクとパタヤの間にある町。日系企業、特に自動車関係の工業団地が近くにあり多くの日本人が駐在している。

細谷先生ロングインタビュー

前篇

ドイツ語や欧米の文学、基礎演習などの講義をされている文化交流学科の教員、細谷瑞枝先生にヨーロッパの文化などについてお話を聞きに研究室へ伺いました。前篇と後篇2回に分けてお読みいただきます。

ほんとは古典がずっと好きだった

◆ドイツ語を学ぶきっかけは何でしたか。

何も特別な理由が無いので話せないんですけど、っていうのはドイツ語を大学で勉強することにしたのは結局英語以外の外国語だったから。

「何大学で勉強したいかな」っていうのはあんまり無かった人だったんですね。ほんとは古典がずっと好きだった。文法が好きだった。だけれども、「これは大学で学問になるんだろうか」と。それとうちの親がそっち関係の仕事だったので、親と同じ分野に進むのは、ちょっと嫌ななつて。だから古典は関係者

がいるから辞めたの。次に自分は何ができるかなって思ったら、外国語かなって。英語は文法とかはまあまあできたんだけど、話すのがとても苦手だったっていうか、全然話したことが無くても、入った時点で差があるというか、私には話したくないってコンプレックスもあるし、だからそれはやめとこう。でもやっぱり外国語だったら、たとえば人が十やっ

ただ、話すのがとても苦手だったっていうか、全然話したことが無くても、入った時点で差があるというか、私には話したくないってコンプレックスもあるし、だからそれはやめとこう。でもやっぱり外国語だったら、たとえば人が十やっ

て十できるところ、私が十やっ

でも、それは二十やれば十まではいくと思つたので、努力すればそれなりにカバーできるかなって思つたの。じゃあドイツ語をやるうって考えて、その時にやっ

まだアジア系っていつのはなくて、ドイツ語、フランス語、ロシア語、それくらい思いついて、でもフランス語は駄目だ

なつて。ほんとにすごいイメージ的に「私には無理、やっぱりドイツ語かな」って。何となく直感的に、「ドイツ語かな」ってくらい。

週に9コマの語学

大学生になつたら、そんな宿題とかないでしょ？ でもね、大学で英語以外の外国語を新しく始めた人は大変かな。大学生だと、普通英語2

コマ第二外国語2コマで後は講義を聞いてるって感じだけど私は、週に9コマ語学系があるの。ドイツ語に関しては一から十まで単語引かないと分からなくて。

辞書との格闘の日々

◆ドイツ語を学ぶ上で大変なことはございましたか。

たぶんドイツ語が大変つていうんじゃないかと、もともと日本語に興味があるっていうか専攻することも考えないではなかったから。「大

変なことになつちやつたなあ」と思いましたね。例えば、日本語だったらもうペラペラ言えるよね。古典も読めるしね。でもドイツ語はもうほんとに「ABC」も何も知らなかったの

で、辞書との格闘の日々ですから、「これを日本語のスピードで読めるようになるにはどれだけの時間がかかっちゃうのだろう」と思つて。でもけつこうやり始めると、やめられない性格なので、もつと根性があつたらば国文学科とかに入り直したかもしれなくて、そこま

で根性がなかったの、じゃあとりあえず「やってみようかな」っていう感じで。

だから難しいよね。うーん：最初は何語でも時間がかかるし、難

東京行きの電車の中で読み切つた「ブッテンブローク家の人々」

しいかもね。やっぱりもう一回読みたくなるような本

◆学生でも観やすい本を教えてください。

たとえば児童文学とかファンタジーものが好きだったら、ミヒャエル・エンデね。『モモ』とか『果てしない物語』だとか、私の感じでは、思想というか、文明批判的なものも入ってるんだけど、それ自体はそれほどな

くて、でもこんなにこうよく思いつくよねってくらいに、イメージが膨らんでいくのがすごく面白い。特に『果てしない物語』の後半とかね。

長編小説がいいわっていう人だったら『ブッテン・ブローク家の人々』(トーマス・マン作)それは岩波文庫で、上中下くらいあつたかも知れない。昔私は大学に勤めてからも、水戸から東京まで週一くらいに帰つていてね、水戸から何か本を持って電車で帰るんだ

人がやっ

て十できるところを私が五しかできなくても、努力すればカバーできる



細谷先生の研究室にて

余ったバターで学生にクッキーをふるまった

けど。たいていの本は読んでるうちにどっかで「んーっ」て寝ちゃって、気がついて「あー着いたか」という感じなんだけど、「ブッテンブローク」は最初から上野に着くまでちゃんと、起きて読めるっていうくらいに面白い。

それを読んで、私はそれまで貴族と市民の違いってというのがあまり分かんなかったのね。市民でも一般庶民だったらもちろん差があるんだけど、大ブルジョアって感じだと、お金もあるし、貴族と何が違うんだって分からなかったけれど、これを読んで、分かった気がした。舞台はリュベックの街なんだけど、そこも一昨年行って当時の家具とかがそのままになってる。トーマス・マン家の部屋も見てきました。

最近のだったら「ベルンハイム・シュリンク」という作家の『朗読社』っていうのがあ

るから良いかもしれないね。日本語にもなってるから、日本語のは読んでないけどすごいおもしろい。

「どうなっちゃうんだろ」「どうしてこうなんだろう」って推理小説的に読んでいけるところがあった。もう謎が分かったっちゃうたから二度は読みたくなくなるっていうか、読まなくてもいいかなって思うでしょ。

けれどこれは違う、やっぱりもう一回読みたくなるような本。あの本は何処に行っちゃったんだろう、みんなに紹介しようと思って家中探しても探しても無い。でももう一回読みたいな。

◆趣味はございますか
お菓子づくりとか。昔、うちの学生がドイツ人の学生と一緒にお菓子を焼

ふるまった

こうというところで大学で焼いたんだけど、バターとか余っちゃうじゃない。「貰っちゃえばいいんだけど、」でもみんなか

らお金もらってるから、って思っちゃう人なので、やっぱりこれは学生に還元しないと、思っ

た。光熱費もかかるし、貰っちゃえばいいの

りそれは嫌じゃない。それはともかく多分、それはお菓子作りが好きなんだと思う。それからパン作りも。パン焼き機を使うから簡単なんだけど、その後アレンジして焼いたりするのは好きなの。ホットケーキミックスで蒸しパンとか作れちゃうのね。それで朝とか食べるものがないなあって時には朝から蒸しパン作りとかをします。学校に来ないときだけね。

だから、結構私は主婦上手いと思うの、「私パン焼くの趣味なんですよ」って他の先生に言ったら「えーっ！」って驚かれるけど(笑)



旅の思い出を話す細谷先生

クッキーを焼いたのよね(笑)したら、たま来た人に、「どうしてそんなことやってるの?」って聞かれたから、

こういう訳で...って言ったら、「光熱費もかかるし、貰っちゃえばいいの」って。でも、やっぱりそれは嫌じゃない。それはともかく多分、それはお菓子作りが好きなんだと思う。それからパン作りも。パン焼き機を使うから簡単なんだけど、その後アレンジして焼いたりするのは好きなの。ホットケーキミックスで蒸しパンとか作れちゃうのね。それで朝とか食べるものがないなあって時には朝から蒸しパン作りとかをします。学校に来ないときだけね。

だから、結構私は主婦上手いと思うの、「私パン焼くの趣味なんですよ」って他の先生に言ったら「えーっ！」って驚かれるけど(笑)

次号へ続く

いろいろな耐えているんだね
◆洋食と和食ではどちらが好きですか?
何でも食べますね。好き嫌いないので。昔はピーマンがすごい嫌いだったんですけど。どんなに小さくたってハンバーグに入っているても、「ピーマンが入ってる」って。大学生になって一人で東京に来たの。ピザにピーマンのつてることが多いでしょう。それ食べて別に大丈夫だったっていうのと、寮のカレーにはなぜかピーマンが入っていたのね。「えっ、カレーにピーマン?」っていう感じなんだけど。食べないわけにはいかな。そしたら、何か別にそんなに嫌じゃないじゃないって思い始めて。家に帰って、「私ピーマン食べられるようになったから」って言ったら、母がちよっと憐れんでましたね。よっぽど苦労して、ピーマンまで食

べられるようになったのね。うんと東京でいろいろと、耐えているんだね。みたいな感じで。だから洋風でも和風でも何でも食べます。

メニューの数が多い少ない
ドイツの料理も別にま

ずくないと思うけど、イギリスの料理は美味しくなかったです。一度、ご家庭に招待されて食べたことがあるんだけど、その時は美味しかったけれど。でももうこれも二十年か三十年前だから今は分からないけど、メニューの数が多い少ない。あのなんというか品数、というかバリエーションがない。どこで食べても「同じメニューじゃないの」って思うくらいだった。一回しか、イギリスには行ってないので分かりませんが。

セキユリティーと情報技術 講演会

7月11日、セキユリティーと情報技術の授業で、日立製作所日立事業所の館岡司総務部長、日立市情報政策課の川崎雄さん、江幡市議会元副議長を招き、IT社会と情報技術の現状についての講演がありました。



講演を聞いた学生の感想を、ご紹介したいと思います。

◆今回の講義を受け、授業で学んでいるセキユリティー技術の具体的な実体がよくわかった。日立製作所の方が直接説明してくれて企業の中の技術、そしてセキユリティーの必要性が詳しくわかり、とても勉強になった。

◆実際に企業におけるセキユリティー問題のお話を伺って、情報セキユリティーの重要さを再認識した。情報漏洩ろうえいの実例を見ると、「うっかり」が原因の大部分を占めているが、大企業の日立製作所でもそんな事件があったことに驚いた。情報がどこから漏れてしまうかわからない怖さがある中で、社員育成の時点での認識がとても大切だということがよく分かった。

◆今回の講義を受けて、いくつかの会社で働くことは今回の講義で学んだセキユリティーの技術も知っておかなくてはいけないと感じた。これから一人一人として働いていくものとして、今回の講義はとても貴重な体験だった。

◆今回の講義を受けて、いくつかの会社で働くことは今回の講義で学んだセキユリティーの技術も知っておかなくてはいけないと感じた。これから一人一人として働いていくものとして、今回の講義はとても貴重な体験だった。

◆今回の講義を受けて、いくつかの会社で働くことは今回の講義で学んだセキユリティーの技術も知っておかなくてはいけないと感じた。これから一人一人として働いていくものとして、今回の講義はとても貴重な体験だった。

編集後記

もう10月なのに気温が高く、蟬が鳴いている日もありました。小さい頃は外に出て紅葉や銀杏を拾ったりして遊んでいましたが、最近は季節の移ろいを感じなくなってきたような気がしてならない。眠れない夜には、せめて涼しい風にあたりながら虫の声を聞いて癒されています。

二ヶ月弱となつてしまいました。振り返るとこの1年、これといった事をしていません…。しかし、「まあいいじゃないか!」と聞き直つて、過ごしていきたいと思えます。

二ヶ月弱となつてしまいました。振り返るとこの1年、これといった事をしていません…。しかし、「まあいいじゃないか!」と聞き直つて、過ごしていきたいと思えます。

最近新しく何かしようと思ひながら作り直した。教わりながら作り直した。加工された花に針金をさしたり花を配置したりするのはなかなか楽しく出来あがった時はルンルン気分でした。

二度目の、ロンゴロンゴの編集に携わることができました。今回は、それぞれ担当の記事を自分の色に染めるようなデザインの仕方というところで、とても楽しめました。読者のみなさんに、この記事はこの人かな…? という、感じで読んで頂けると、さらに喜びもひとしおかと思ひます。

二度目の、ロンゴロンゴの編集に携わることができました。今回は、それぞれ担当の記事を自分の色に染めるようなデザインの仕方というところで、とても楽しめました。読者のみなさんに、この記事はこの人かな…? という、感じで読んで頂けると、さらに喜びもひとしおかと思ひます。

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと

今年も残すところあと